

類義語指導のための基礎的研究（1）

田村 泰男

0. はじめに

本稿の目的は、日本語学習者から得られた類義語に関するデータを分析し、日本語を学習する外国人にとってどんな語彙が難解であるのかを明らかにすると同時に、類義語を指導する上での効果的な教授法を探ることにある。

本稿で扱う類義語は、形式名詞、接辞を中心とした次の7項目である。

- 1) ぎみ／がち／っばい
- 2) 的な／風の／っばい
- 3) まま／きり／っばなし
- 4) 用／向き／向け
- 5) ために／よう／のに
- 6) おきに／ごとに／たびに
- 7) うち／あいだ／なか

データとしては、日本語として一番自然だと思われるものを選択肢の中から選ぶという形式で日本語上級の受講者に対して行ったテストの結果を用いる。テストは2回行ったが、1回目のテスト後これらの類義語の類似点・相違点について説明を行い、その2カ月後に2回目のテストを行った。これらのテストはそれぞれの語彙がもつ意味全般について尋ねたものではなく、あくまでも他の語彙との間に意味的な類似性をもつものを中心としたものである。受験者は1回目30人、2回目16人で、問題文に前に付けてある記号のうち、(A)は1回目のテストで出題した問題を表し、(B)は2回目のテストを示す。なお、整理の都合上、問題文は実際の出題順とは変えて並べてある。

1. ぎみ／がち／っばい

(A1-1) 石川さんは、最近仕事が忙しく、ちょっと疲れ(①ぎみ ②がち ③っばい)です。

(A1-2) 退職して以来、ちょっと運動不足(①ぎみ ②がち ③っばい)です。

(A1-3) 体の弱い森下さんは、学校を休み(①ぎみ ②がち ③っばい)です。

(A1-4) 冬になると、この地方は曇り(①ぎみ ②がち ③っばい)です。

(A1-5) 掃除の嫌いな林先生の部屋は、いつもほこり(①ぎみ ②がち ③っばい)。

(A1-6) 木下さんはとてもいい人ですが、忘れ(①ぎみな ②がちな ③っばい)のが欠点です。

- (B1-1) 来週試験があるので、学生たちは皆焦り（①ぎみ ②がち ③っばい）です。
- (B1-2) 最近ちょっと太り（①ぎみな ②がちな ③っばい）ので、ジョギングを始めました。
- (B1-3) 人間は、自分にとって都合の悪いことは、忘れ（①ぎみ ②がち ③っばい）です。
- (B1-4) 冬は寒くて、あまり外に出ないので、運動不足になり（①ぎみ ②がち ③っばい）です。
- (B1-5) 風邪を引いたのか、ちょっと熱（①ぎみな ②がちな ③っばい）んです。
- (B1-6) 村山さんはとてもいい人ですが、怒り（①ぎみな ②がちな ③っばい）のが欠点です。

(表1)

	①	②	③	無解答
(A1-1)	26(86.7%)	3(10%)	0	1(3.3%)
(A1-2)	21(70%)	3(10%)	3(10%)	3(10%)
(A1-3)	5(16.7%)	23(76.7%)	1(3.3%)	1(3.3%)
(A1-4)	2(6.7%)	16(53.3%)	11(36.7%)	1(3.3%)
(A1-5)	1(3.3%)	7(23.3%)	21(70%)	1(3.3%)
(A1-6)	2(6.7%)	13(43.3%)	14(46.7%)	1(3.3%)
(B1-1)	9(56.3%)	5(31.3%)	2(12.5%)	0
(B1-2)	14(87.5%)	2(12.5%)	0	0
(B1-3)	1(6.3%)	9(56.3%)	6(37.5%)	0
(B1-4)	6(37.5%)	10(62.5%)	0	0
(B1-5)	13(81.3%)	2(12.5%)	1(6.3%)	0
(B1-6)	0	3(18.8%)	13(81.3%)	0

1回目のテストにおいて全問正解した者はわずか4人で、学習者にとって難解な項目と言える。ここでは特に、「がち」と「っばい」の間の混同が顕著に現れたため、この項目の説明においては、個々の語彙のもつ基本的な意味及び、「がち」と「っばい」の類似点・相違点を中心に行った。その結果、性質を表す「っばい」に関しては、(A1-6)と(B1-6)に見られるように正答率が大幅に上昇している。

しかしながら、2回目のテスト結果に現れているように、前にくる語彙によって正答率や誤答の分布に差が出ている。特に、(B1-5)の問題に正答している者はほとんどゼロに近い。これは、「風邪がぎみ」という表現からの類推のためとも考えられるが、筆者の予想を大きく超える結果となった。よく用いられる語句については、一種固定した表現として導入する必要があると考えられる。

また、(A1-2)と(B1-4)、(A1-6)と(B1-3)に見られるように、1回目のテストで用いた語彙を違う文脈で用いた場合、明らかに1回目のテストの影響が出ている。二つ以上の接尾辞との組み合わせがある語彙については特に留意し、それらの意味・ニュアンスの差異について説明する必要がある。

2. 的な／風の／っぽい

(A2-1) 外国に日本(①的な ②風の ③っぽい)経営方法けいえいを持ち込んでも成功しないことが多い。

(A2-2) 高橋さんの奥さんは、とても家庭(①的な ②風の ③っぽい)人です。

(A2-3) いすに座すわっているあの学者(①的な ②風の ③っぽい)人は、本当は画家ががな人です。

(A2-4) あの北欧ほくおう(①的な ②風の ③っぽい)家は、日本の建築家けんちくかが建てたものです。

(A2-5) 来年はもう三十才だというのに、西村さんのすることは、いつも子ども(①的だ ②風だ ③っぽい)ね。

(A2-6) この料理は私にはちょっと油(①的だ ②風だ ③っぽい)。

(B2-1) 他人と同じようにしなければならないと考えるのは、日本人(①的な ②風の ③っぽい)発想はっそうです。 *発想=考え方

(B2-2) 今度の市長はとても庶民しやみん(①的な ②風の ③っぽい)人だそうだ。

*庶民=普通の人、一般の人

(B2-3) あの学生(①的な ②風の ③っぽい)男の人は、本当は医者なんです。

(B2-4) あのホテル(①的な ②風の ③っぽい)建物が、新しくできた駅ビルです。

(B2-5) このスープはちょっと水(①的だ ②風だ ③っぽい)ね。

(B2-6) 昨日山本さんが話していたことは、嘘うそ(①的だ ②風だ ③っぽい)。

(表2)

	①	②	③	無解答
(A2-1)	19(63.3%)	11(36.7%)	0	0
(A2-2)	23(76.7%)	2(6.7%)	5(16.7%)	0
(A2-3)	2(6.7%)	20(66.7%)	8(26.7%)	0
(A2-4)	1(3.3%)	29(96.7%)	0	0
(A2-5)	0	0	30(100%)	0
(A2-6)	1(3.3%)	2(6.7%)	26(86.7%)	1(3.3%)
(B2-1)	14(87.5%)	1(6.3%)	1(6.3%)	0
(B2-2)	12(75%)	1(6.3%)	3(18.8%)	0

(B2-3)	1(6.3%)	9(56.3%)	6(37.5%)	0
(B2-4)	0	15(93.8%)	1(6.3%)	0
(B2-5)	0	0	16(100%)	0
(B2-6)	1(6.3%)	0	14(87.5%)	1(6.3%)

(表2) からわかるように、1回目のテストでは(A2-1)と(A2-3)の正答率が低い。

(A2-1)に関しては、この数字が意外にも思えるが、「日本でのやり方を条件的にかなり満たしている」と解釈するか、「日本でのやり方のように見える／に似せた」と解釈するかということで、意味的には極めて似通っている点、及び形態的には「イタリア風」「インド風」など「風」が国名を前に取る用例からの類推ということが考えられる。

(A2-3)に関しては、「学者っぽい」という語形が会話などインフォーマルな場面では許容されるものであるためと考えられるが、これは、(B2-3)において「学生っぽい」という答えが、37.5%も見られることから明らかである。「学者っぽい」「学生っぽい」という語形が標準的かどうかという点は別にしても、informalityという観点からの導入は必要であろう。

なお、「っぽい」だけが解答として許容される問題は、ここでは比較的正答率が高かった。

3. まま／きり／っぱなし

(A3-1) 日本では靴を(①履いたまま ②履いたきり ③履きっぱなしで)、家の中に入
てはいけません。

(A3-2) ジョンさんは日本に二年もいたが、結局日本語を(①勉強しないまま ②勉強
しないきり ③勉強しないっぱなしで)帰国した。

(A3-3) 山下さんとは、去年のパーティーで(①会ったまま ②会ったきり ③会い
っぱなし)だ。

(A3-4) 二年前に森君から手紙をもらったが、彼からの連絡は(①そのまま ②それ
きり ③それっぱなし)だ。

(A3-5) 昨日見た映画はとてもおもしろくて、最後まで(①笑ったまま ②笑ったきり
③笑いっぱなし)だった。

(A3-6) 地震の後、市役所では問い合わせの電話が(①鳴ったまま ②鳴ったきり
③鳴りっぱなし)だったそうだ。

(B3-1) 立たなくてもいいですよ。(①座ったまま ②座ったきり ③座りっぱなし)で
話して下さい。

(B3-2) 急いでいたので、鍵を(①かけないまま ②かけないきり ③かけないっぱ
なしで)家を出てきた。

- (B3-3) せっかく東京へ行ったのに、東京タワーを(①見ないまま ②見ないきり ③見ないっぱなしで) 帰って来た。
- (B3-4) フランス料理は3年前に(①食べたまま ②食べたきり ③食べっぱなし)で、それ以来一度も食べていない。
- (B3-5) 明日帰国するので、あなたに会うのも(①このまま ②これっきり ③これっぱなし) かもしれません。
- (B3-6) 朝から(①しゃべったまま ②しゃべったきり ③しゃべりっぱなし)なので、喉が痛い。
- (B3-7) テニスのヒンギス選手は3カ月前から今日まで(①勝ったまま ②勝ったきり ③勝ちっぱなし) だそうです。

(表3)

	①	②	③	無解答
(A3-1)	30(100%)	0	0	0
(A3-2)	12(40%)	8(26.7%)	10(33.3%)	0
(A3-3)	1(3.3%)	25(83.3%)	4(13.3%)	0
(A3-4)	5(16.7%)	22(73.3%)	3(10%)	0
(A3-5)	7(23.3%)	5(16.7%)	18(60%)	0
(A3-6)	6(20%)	2(6.7%)	22(73.3%)	0
(B3-1)	16(100%)	0	0	0
(B3-2)	13(81.3%)	0	3(18.8%)	0
(B3-3)	11(68.8%)	2(12.5%)	3(18.8%)	0
(B3-4)	0	16(100%)	0	0
(B3-5)	1(6.3%)	14(87.5%)	1(6.3%)	0
(B3-6)	1(6.3%)	1(6.3%)	14(87.5%)	0
(B3-7)	1(6.3%)	2(12.5%)	13(81.3%)	0

1回目のテスト結果から先ず指摘できることは、(A3-2)における正答率の低さであろう。このことは前が否定でない(A3-1)の場合と比べて顕著である。そこで、解説において「きり」「っぱなし」の前に否定の語は立たないことを説明したが、(B3-3)の解答に見られるように、この点については十分に理解されていないようである。

また、「っぱなし」を選択すべきところでも誤答が多く見られ、特に「まま」と答えているケースが多かった。これについては、他動詞に後続する「っぱなし」はほとんどの場合、「まま」と置き換えが可能なのに対して、自動詞の後の「っぱなし」には「まま」との置き換えに制約があること、特に「笑いっぱなし」「鳴りっぱなし」のように、反復的・継続的に起こる動作・状況に対しては、「まま」での置き換えができないことを説明した

結果、2回目のテストでは正答率が上がっている。

解説では上記の二点に加え、「ある時点での突然の終了」を表す「きり」と「(ある動作の後の)状態の継続」を表す「まま」の意味の違いについても、ポイントをおいて説明を行ったが、その結果、(A3-3)(A3-4)→(B3-4)(B3-5)に見られるように、正答率が上昇しており、学習効果を示している。

4. 用／向き／向け

(A4-1) このグローブは左利き^{ひだりき} (①用 ②向き ③向け) なので、右利きの人は使えませんよ。

(A4-2) うちの会社の男性 (①用 ②向き ③向け) トイレは、いつも汚い。

(A4-3) このポロシャツは若者 (①用 ②向き ③向け) だが、年配^{ねんぱい}の人が着ても悪くない。

(A4-4) このアパートは新婚さん (①用 ②向き ③向け) だが、独身^{どくしん}の人も住んでいます。

(A4-5) 最近の円安でアメリカ (①用 ②向き ③向け) の輸出^{ゆしゅつ}が増えている。

(A4-6) OL (①用 ②向き ③向け) にB社^{はっしょう}が発行^{ざっし}している雑誌は、主婦の間でも人気があるそうだ。
* OL = 女性社員

(B4-1) もうすぐ銀行の人が来るので、来客^{らいきやく} (①用 ②向き ③向け) のスリッパを用意^{ようい}して下さい。

(B4-2) 昨日デパートへ行って、登山^{とざん} (①用 ②向き ③向け) の靴^{くつ}を買った。

(B4-3) このワインは甘い^{あま}ので、女性 (①用 ②向き ③向け) だ。

(B4-4) 朝早い仕事は私 (①用 ②向き ③向け) ではない。

(B4-5) この番組^{ばんぐみ}は子供 (①用 ②向き ③向け) に作られているが、大人が見てもおもしろいかもしれない。

(B4-6) 宮島には、観光客^{かんこうきやく} (①用 ②向き ③向け) のみやげもの屋が、数多くある。

(表4)

	①	②	③	無解答
(A4-1)	25(83.3%)	3(10%)	2(6.7%)	0
(A4-2)	30(100%)	0	0	0
(A4-3)	2(6.7%)	20(66.7%)	8(26.7%)	0
(A4-4)	2(6.7%)	19(63.3%)	9(30%)	0
(A4-5)	0	12(40%)	18(60%)	0
(A4-6)	1(3.3%)	9(30%)	20(66.7%)	0

(B4-1)	16(100%)	0	0	0
(B4-2)	15(93.8%)	0	1(6.3%)	0
(B4-3)	0	15(93.8%)	1(6.3%)	0
(B4-4)	1(6.3%)	13(81.3%)	2(12.5%)	0
(B4-5)	0	6(37.5%)	10(62.5%)	0
(B4-6)	2(12.5%)	2(12.5%)	12(75%)	0

1回目のテスト結果から明らかなように、「用」についてはほぼ理解されている。学習者にとって難解であるのは「向き」「向け」の使い分けである。これら二つの語彙については、テストの後、「向き」のもつ「適している・ふさわしい」という意味と「向け」のもつ「対象に目標を合わせる」という意味の違いについて説明を行ったが、2回目のテスト結果を見ると、「向き」の正答率が上がっているのに対して、「向け」に関してはそれほど理解が進んでいないという結果が出た。

5. ために／よう／のに

- (A5-1) 明日、靴^{くつ}を買う (①ために ②よう ③のに)、デパートへ行くつもりだ。
 (A5-2) 人間は食べる (①ために ②よう ③のに)、働くのです。
 (A5-3) 入学試験に合格できる (①ために ②よう ③のに)、毎日十時間勉強している。
 (A5-4) 子どもが食べやすい (①ために ②よう ③のに)、野菜を小さく切^きった。
 (A5-5) 瀬戸大橋^{せとのおおはし}が完成^{かんせい}する (①ために ②よう ③のに)、十年以上の年月がかかった。
 (A5-6) 私は日本語の宿題^{くどい}をする (①ために ②よう ③のに)、いつも苦勞^{くろう}しています。
- (B5-1) 私は日本文化^{りかい}を理解する (①ために ②よう ③のに)、茶道^{さどう}を習っているのです。
 (B5-2) 大学院に入る (①ために ②よう ③のに)、猛勉強した。
 (B5-3) みんなによくわかる (①ために ②よう ③のに)、説明^{せつめい}して下さい。
 (B5-4) 日本に留学^{りゅうがく}できる (①ために ②よう ③のに)、猛勉強^{もう}した。
 (B5-5) この辞書^{じしょ}は、意味^{いみ}を調べる (①ために ②よう ③のに)、とても便利^{べんり}だ。
 (B5-6) 私は漢字^{かんじ}を覚^{おぼ}える (①ために ②よう ③のに) とても時間^{じかん}がかかる。

(表5)

	①	②	③	無解答
(A5-1)	26(86.7%)	2(6.7%)	2(6.7%)	0
(A5-2)	16(53.3%)	5(16.7%)	9(30%)	0
(A5-3)	16(53.3%)	13(43.3%)	1(3.3%)	0
(A5-4)	11(36.7%)	16(53.3%)	3(10%)	0

(A5-5)	2(6.7%)	2(6.7%)	26(86.7%)	0
(A5-6)	7(23.3%)	3(10%)	20(66.7%)	0
(B5-1)	14(87.5%)	2(12.5%)	0	0
(B5-2)	15(93.8%)	1(6.3%)	0	0
(B5-3)	1(6.3%)	15(93.8%)	0	0
(B5-4)	3(18.8%)	11(68.8%)	2(12.5%)	0
(B5-5)	2(12.5%)	1(6.3%)	13(81.3%)	0
(B5-6)	1(6.3%)	0	15(93.8%)	0

1回目のテストでの全問正解者は3人で、学習者にとっては難しい項目の一つと言える。中でも、(A5-3)(A5-4)に見られるように、「よう」と解答すべきところを「ために」で答えている学習者が多く、この二つは特に使い分けが難しいことがわかる。この傾向は、「のに」においてもうかがわれることから、「よう」「のに」に関して理解が不十分な学習者は「ために」を選ぶ傾向があると言えそうである。

ここでは、「XためにY」のX、Yには意志的な動作がくることが多いこと、「XようY」のXには可能など状態を表す動詞がくることが多いこと、「XのにY」のYには使い方・方法・用途・必要などを表す文が多く、XとYが起こるのは同時的で時間的な差がないことを中心に説明を行った。

2回目のテスト結果を見る限り、概ね正答率は上がっており、学習効果はあったと言えそうである。

6. おきに／ごとに／たびに

(A6-1) 私は三日に一度、つまり二日 (①おきに ②ごとに ③たびに) 髪を洗います。

(A6-2) 土曜日は、一週間 (①おきに ②ごとに ③たびに) 休みになりました。

先週の土曜日は出勤しましたので、今週は休みです。

(A6-3) 父は、日曜日 (①おきに ②ごとに ③たびに) テニスをします。

(A6-4) 十一月になると、日 (①おきに ②ごとに ③たびに) 寒くなっていきます。

(A6-5) パーティーの (①おきに ②ごとに ③たびに) 家内はドレスを新調する。

* 新調=新しく作ること。

(A6-6) 私は国へ帰る (①おきに ②ごとに ③たびに) 上田先生のお宅へ伺います。

(B6-1) タクシーの運転手は、二日に一度、つまり一日 (①おきに ごとに ③のたびに) 休みです。

(B6-2) 私は三日 (①おきに ②ごとに ③のたびに) スーパーへ行く。

月曜日に行けば、次は金曜日だ。

(B6-3) あのレストランでは、季節(①おきに ②ごとに ③のたびに)メニューを交えるそうです。

(B6-4) 文化や習慣は国(①おきに ②ごとに ③のたびに)違います。

(B6-5) 試験(①おきに ②ごとに ③のたびに)頭が痛くなるのは、みんな同じだ。

(B6-6) 沖縄地方は、台風が来る(①おきに ②ごとに ③たびに)被害を受ける。

(B6-7) 私の家は駅の近くにあるので、電車が通る(①おきに ②ごとに ③たびに)、揺れる。

(表6)

	①	②	③	無解答
(A6-1)	27(90%)	3(10%)	0	0
(A6-2)	24(80%)	2(6.7%)	4(13.3%)	0
(A6-3)	2(6.7%)	18(60%)	10(33.3%)	0
(A6-4)	1(3.3%)	23(76.7%)	6(20%)	0
(A6-5)	1(3.3%)	4(13.3%)	25(83.3%)	0
(A6-6)	1(3.3%)	2(6.7%)	27(90%)	0
(B6-1)	14(87.5%)	2(12.5%)	0	0
(B6-2)	14(87.5%)	2(12.5%)	0	0
(B6-3)	2(12.5%)	13(81.3%)	1(6.3%)	0
(B6-4)	1(6.3%)	14(87.5%)	1(6.3%)	0
(B6-5)	1(6.3%)	2(12.5%)	13(81.3%)	0
(B6-6)	1(6.3%)	0	15(93.8%)	0
(B6-7)	0	1(6.3%)	15(93.8%)	0

1回目のテスト結果から言えることは、(A6-3)(A6-4)に見られるように「ごとに」と答えるべきところで「たびに」を選択している学習者が多いということである。これについては、解説の時に、前に名詞をとる場合「の」を介するかどうかといった接続の問題や「単位」を表す「ごと」の用法を熟語化した表現(日ごとに/夜ごとに)などをも含めて説明した。またここでは、(A6-6)のように前に動詞を取る場合、「ごとに」よりも「たびに」を使う方が自然であることについても言及した。

その結果、2回目のテストでは「ごとに」と「たびに」の間での誤答は減っている。

なお、今回のテストを見る限り、「おきに」を選ぶべきところで「ごとに」と答えたり、逆に「ごとに」を選ぶべきところで「おきに」と答えた者は少なかった。

7. うち/あいだ/なか

(A7-1) 出かける時、「暗くならない(①うち ②あいだ ③なか)に帰ってきなさい」

と母に言われた。

(A7-2) お茶でも飲んでいれば、その (①うち ②あいだ ③なか) 雨も止むでしょう。

(A7-3) 子どもは長い (①うち ②あいだ ③なか) 父の帰りを待っていたが、やがて寝てしまった。

(A7-4) 昨日は朝8時から夜10時までの (①うち ②あいだ ③なか) 会社にいました。

(A7-5) 山本さんは会議の (①うち ②あいだ ③なか) ずっと寝ていた。

(A7-6) この (①うち ②あいだ ③なか) 学会があって、東京へ行って来ました。

(A7-7) 大勢の人が見守る (①うち ②あいだ ③なか) で、太郎君と花子さんの結婚式は行われた。

(A7-8) 本日はお暑い (①うち ②あいだ ③なか)、わざわざおいでいただきまして、誠に有り難うございます。

(B7-1) 今はわからなくても、まじめに勉強していれば、その (①うち ②あいだ ③なか) わかるようになりますよ。

(B7-2) 一ヶ月ほどアメリカへ行っていたんですが、その (①うち ②あいだ ③なか) 田中さんが犬の世話をして下さいました。

(B7-3) リッチな鈴木さんは、夏休みの (①うち ②あいだ ③なか) ずっとハワイにいたそうです。

(B7-4) トムさんは、日本にいる (①うち ②あいだ ③なか)、英語を教えていたそうです。

(B7-5) この (①うち ②あいだ ③なか) テレビで放送したドラマはとてもおもしろかったですよ。

(B7-6) 先週の試合は、小雨が降る (①うち ②あいだ ③なか) で、おこなわれた。

(B7-7) お忙しい (①うち ②あいだ ③なか)、よく来て下さいました。

(表7)

	①	②	③	無解答
(A7-1)	29(96.7%)	1(3.3%)	0	0
(A7-2)	20(66.7%)	7(23.3%)	3(10%)	0
(A7-3)	3(10%)	27(90%)	0	0
(A7-4)	2(6.7%)	26(86.7%)	1(3.3%)	1(3.3%)
(A7-5)	3(10%)	17(56.7%)	10(33.3%)	0
(A7-6)	1(3.3%)	29(96.7%)	0	0
(A7-7)	2(6.7%)	3(10%)	24(80%)	1(3.3%)
(A7-8)	8(26.7%)	6(20%)	15(50%)	1(3.3%)

(B7-1)	13(81.3%)	0	3(18.8%)	0
(B7-2)	2(12.5%)	14(87.5%)	0	0
(B7-3)	1(6.3%)	12(75%)	3(18.8%)	0
(B7-4)	3(18.8%)	12(75%)	1(6.3%)	0
(B7-5)	1(6.3%)	13(81.3%)	2(12.5%)	0
(B7-6)	1(6.3%)	0	15(93.8%)	0
(B7-7)	4(25%)	3(18.8%)	9(56.3%)	0

1回目のテスト結果を見ると、(A7-2)(A7-5)(A7-8)の正答率が低いことがわかる。近過去を表す「このあいだ」を問う(A7-6)の問題の正答率が高いのに対して、近未来を表す「そのうち」を問う(A7-2)の問題の正答率がそれほど高くないのは、「このうち」という表現が時間表現として用いられることがないのに対して、「そのあいだ」は期間を示す用法をもっているからということが理由の一つと考えられるため、解説では「このあいだ」「そのうち」「そのあいだ」など、これらの形式名詞が連体詞を前に取る場合の意味の違いについて説明を行った。その結果、2回目のテストでは(B7-1)に見られるように、「そのうち」を選ぶ問題に対して「そのあいだ」を選択した解答はなかった。

「あいだ」を問う問題のうち、(A7-3)や(A7-4)のように「長い」という語や「～から～まで」といった起点と終点を示す語句が前に書かれている場合は、正答率が高いのに対して、(A7-5)では正答率が低く、3人に1人が「なか」を選んでいる。これは、「会議中」という表現からの類推のためか、或いは「ずっと」という語に対する理解が十分でなかったのかはわからないが、解説においては、「あいだ」に「に」が付かない時は、「～あいだ」によって示される期間全体にわたって、主節で述べられる動作・状態が継続することを表すという点についての説明を行った。

「なか」に関しては、一回目のテスト後、「なか」のもつ「最中」という意味を中心に、後ろに助詞「で」を取る場合や慣用的表現をも含めて説明を行った。(B7-6)のように後ろに「で」を取る問題では正答率が高く学習効果もあったのに対して、(B7-7)を見る限り、後ろに「で」を取らない場合には、理解があまり進んでいない。誤答も(A7-8)同様「うち」と「あいだ」両方に見られ、学習者にとって難しい語彙の一つと言える。

参考文献

- 森田良行(1989) 『基礎日本語辞典』 角川書店
遠藤織絵他編(1994) 『使い方のわかる類語例解辞典』 小学館
牧野成一・筒井通雄(1995) 『日本語文法辞典〔中級編〕』 ジャパンタイムズ
日本語教育学会編(1982) 『日本語教育事典』 大修館書店
広瀬正宜・庄司香久子編(1994) 『日本語学習使い分け辞典』 講談社